

キッズ大陸フロンタウン生田園

評価方針

◇保育方針：個を受容し、共感する中で主体背を育む

◇教育方針：技能と心の調和

◇教育理念：スポーツを使って調和のとれた『心・技・体・知』を育む

■ 当園における評価の捉え方

当園では評価（アセスメント）を以下のように捉えています。

- ・ 園児のユニットに対する理解・学習を促進し、園児への働きかけや支援を改善する手段
- ・ 園・教員が探究のプログラムと自身のクラス運営方法を振り返り、継続的にプログラムとクラス運営を発展させる手段
- ・ 園児の成長記録を、保護者、園児自身、園、教員と共に共有する手段

私たちはプログラムの内外ともに、PYP の理念に基づき、園児一人ひとりを多面的で統一された観点で評価します。日々の生活や活動の中で結果だけでなく経過も重要ととらえ、評価を行い、都度フィードバックを行います。このように日々の活動の中で評価を伝えることは、園児の更なる学びの発展や成長を促す機能があると考えます。

また評価は園児だけでなく、実施した教育プログラム自体を改善・促進するためにも用いられます。この場合、園児の評価は教員の実践した探究活動を振り返り、園児への働きかけを見直すために重要な情報であり、教員のスキル向上を促します。

これらの点において、評価という語が一般的に想起させる「園児の理解や身につけたスキルの査定」とは異なります。

■ 評価の目的

- ・ 教育プログラムを通じた園児の変化・成長の記録と報告
- ・ 進行中のプログラムの次の指導方法・ステップを決める際の活用
- ・ 園における教育プログラム全体の持続的向上
 - － 園における教育プログラムの有効性評価
 - － 教員の自己評価と振り返りの記録と報告

■ 評価者

・教員：

教員は日頃の観察や園児とのコミュニケーション、園児の成果物（作品、ワークシート等）を通して、ユニットや日頃の園生活を通して見られた変化を評価し、探究やクラス運営の展開に活用する責任があります。

・保護者：

保護者は、家庭で過ごす中で見られた園児の成長や行動の変化について、教員に共有する責任があります。また園児の評価について、評価方法や評価の観点を知る権利があります。

・園児：

園児は、探究活動における個人ワーク・ペアワーク・グループワークを通じ、自身の学びの過程を振り返り、評価する過程に参加する責任があります（自己評価・園児相互評価）。また自身の評価について、評価方法や評価の観点を知る権利があります。

■ 評価の観点

教員は、1年間に実施される4つの単元のユニットが掲げる下記の項目について、園児の探究成果及び探究の過程（発言や会話等も含む）を評価します。これらの評価の観点は、ゴールから逆算して設計されるユニットでの学びを、効果的に評価するための具体的な構成要素だといえます。

・中心的アイデア

各ユニットでは、探究活動を通じて園児に知ってほしい普遍的な知識を中心的アイデアとして据えています。当園では園児たちの事前知識や身近な事柄を踏まえ、遊びをベースとした様々な学習経験を提供し、探究活動を通じてその知識の理解を目指します。

・概念

各ユニットでは、探究活動を通じて身に付けてほしい重要概念を規定しています。重要概念の理解を促進するために園児の理解度を測るとともに、教育プログラムで提供する学習経験に反映させます。

- ・ 学習者像

各ユニットでは、国際的な視野を育成するために国際バカロレア機構（IB）が掲げている学習者像のなかでも、とくに注力する学習者像を規定しています。園児たちがその年齢・発達に即して学習者像を理解し、実践に努めているかを評価します。

- ・ 学習の方法（IB が掲げるスキルの習得）

自ら学ぶための学習の方法を、5 種類のスキルに分けて掲げています。これらは上記の項目に比べ、具体的な項目になりやすい傾向にあります。詳細は国際バカロレア機構が公開する資料“Learning and Teaching”『学習と指導』（p.35-p.49）をご参照ください。

- ・ 技能の習得（保育所保育指針に定める教育内容の 5 領域）

当園では、日本の保育所保育指針が定める教育内容の 5 領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）について年間カリキュラムを策定しています。この年間カリキュラムは PYP の枠組みの中で実施され、園児の技能習得（文具の使用や数の概念の習得など）の順序を明示します。

- ・ 行動

探究活動、ひいては園生活において、園児は多面的で統一された観点から観察されます。園児の行動に見られた変化もまた、成長の記録として評価されます。

■ 評価の種類

- ・ 形成的評価

ユニットが実施される前、及び実施中に行われる評価を指します。探究活動における園児の理解の促進や知識・スキルの習得に向け、既存知識を確認したり、教員側の働きかけを検討したりする目的で行います。

- ・ 総括的評価

ユニットの終盤、終了時に実施される評価を指します。園児が探究活動を通じて深めた理解や習得した知識・スキルと共に、今後のユニットで発展または変更すべき点について記録する目的で行います。

■ 評価の報告（記録）方法

・ポートフォリオ

ポートフォリオとは、園児の作品やワークシートといった成果物に加え、探究活動や園生活における園児の意見や行動の変化を記録したファイルを指します。当園では、デジタルポートフォリオと紙ベースのポートフォリオを併用しています。

オンラインのプラットフォーム（Seesaw）を使用したデジタルポートフォリオは、園児の活動の様子を写真や動画でタイムリーに保護者に共有することを目的としています。

紙ベースのポートフォリオは、制作した作品やワークシートの原本をファイリングし、園児が学びの振り返りを行う際に手に取れるようクラスに保管しています。保護者は、来園時に自由にファイルを閲覧することが可能です。作成したポートフォリオは、年度末に各家庭にお渡ししています。

最終更新日 2024年3月